

大富小
学校だより

にじます

No. 1

令和6年度

4月27日

心が動く瞬間^{とき}を大切に

4月10日、臨時休校を経て子供たちが元気に登校してきました。登校を見守った後、学校の敷地をぐるっと一周しました。すると水芭蕉が咲いているではありませんか。大富小の子供たち、保護者の皆様、地域の皆様にとっては、当たり前のことかもしれませんが、今年度からお世話になっている私は大変びっくりし、でもそれ以上にとても幸せな気分になりました。改めて、「どっこ水とカクレトミヨという宝」を持つ大富小学校に勤務できることに大きく心が動いた瞬間でした。この日、昨日の風雨が嘘のように雲一つない青空のグラウンドで、子供たちはのびのびと体を動かしていました。西を見ると真っ白な月山と朝日連峰の山々、北には葉山、東には蔵王山が見え、このような風光明媚^{ふうこうめいび}な環境の下で6年間を過ごすことができる「地域の未来の宝である子供たち」に出会えた幸せを改めて実感し、また大きく心が動きました。

「清く 正しく 美しく」の校訓のもと、『「どっこ水」のようにきれいな心で「カクレトミヨ」のように一生懸命励む大富っ子』を目指し、134年目の伝統と子供が主語になる学校経営を行って参ります。どうぞよろしく願いたします。



心が動いた 水芭蕉

校長 茂庭千春

